

主催 お茶の水女子大学 学校臨床研究会
共催 お茶の水女子大学 特別教育研究経費
「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応」
—Communication System Development Program—

アメリカのガイダンス・プログラムの実際

～子どもたちのリスクへの予防的関わり～



2010年3月27日(土)13:00～17:30

お茶の水女子大学 生活科学部本館 125

講演者 **Carol A. Dahir** 博士

アメリカ・スクールカウンセラー協会(ASCA)による全米スクールカウンセリング・スタンダードの著者のお一人であり、米国、特にニューヨーク州におけるスクールカウンセラーの指導的立場にある先生です。ニューヨーク工科大学の准教授としてスクールカウンセラー教育にあたる傍ら、NY州の教育委員会やスクールカウンセラー協会などと共に、包括的なスクールカウンセリングプログラムの開発、実施と評価を行っておられます。スクールカウンセラーのアカウントビリティや全校的支援を促進するMEASUREモデルを考案され、新しいスクールカウンセラー像を示すテキスト「Transformed School Counselor」も執筆されています。

【参考文献】

キャンベル & ダヒヤ(著)中野良顯(訳) 2000 スクールカウンセリングスタンダード
図書文化社

ストーン & ダヒヤ(著)井上孝代(監訳)伊藤武彦・石原静子(訳) 2007
スクールカウンセリングの新しいパラダイム—MEASURE法による全校参加型支援—
風間書房

コメンテーター 伊藤亜矢子(お茶の水女子大学大学院准教授)

講演内容

包括的なスクールカウンセリングプログラムであるASCAモデルの実際、日本でも今後の実践が注目される心理教育(ガイダンスレッスン)をどう行うのかについて具体的にお話して下さる予定です。

プログラム

13:00-15:00 アメリカにおけるガイダンス・プログラムおよび
スクールカウンセリングの理論と実際

15:30-17:30 子どものニーズの見立てとガイダンス・プログラムの立案

使用言語 英語・日本語

参加費(資料代)¥500

申し込み・問い合わせ(当日参加可能)
お茶の水女子大学 学校臨床研究会
gakkou_rinsho @ yahoo.co.jp